

## 公表 児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	コロル今福		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 10日		～ 2026年 2月 18日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○従業者評価実施期間	2026年 2月 10日		～ 2026年 2月 18日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちへの支援の提供	①小学校入学に向けて、毎回読み書きや数、その他の知育に取り組ませることで学習の基礎を作っている。 ②片付けの徹底。	計画的に身に付けさせたいスキルを計画書に沿って、個別・集団活動の中で実施していく。
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流やお子様と一緒に楽しんでいただくような家族への支援がほとんどない点	日々の業務をこなすこととていっばいで、職員に心理的な余裕がなかった為。	長期休みや土日にご家族も参加可能な夏祭りや外出支援のイベントを企画する。
2	事業所外の子ども達と接する機会がない点	開所してまだ1年経たず、地域の中で横の繋がりができていなかった為。	まずは、同じなまるグループの事業所間で運動会やドッチビー大会など企画する。
3	非常時の対応についての準備不足	非常時の対応について、必要最低限のことは準備・実施していたものの、詳細なところまで考えて準備ができておらず、保護者の方への説明も不十分だった為。	南海トラフを想定し、実際に避難先まで避難訓練を行ったり、大きな津波が来た時を想定し、同ビルの屋上まで垂直避難体験しておく。また、災害発生後に保護者の方にとっていただく行動を事前に周知しておく。

## 公表 保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果

事業所名 コロル今福

公表日 令和 8年 2月 22日

利用児童数 26

回収数 17

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	88%	12%			教室は少し狭いと思う	教室の広さを変えることはできない為、机の配置を変えることで過ごしやすい空間を確保する。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	29%	53%	12%	6%	運営責任者が突然辞めたので、人員が 充分足りているのかが分からず不安	今後、人員の補充あり
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	94%	6%				文字やイラストの掲示物を効果的に使うようにする。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	100%					
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	88%	12%				職員のスキルアップを図っていく。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	94%	6%				
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	82%	18%				これまで以上に気を付けながら作成をしていく。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	77%	23%				今後、移行支援に該当するお子様も出てくる為、説明をしっかり行っていく。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	82%	18%			好きな友達と好きなおもちゃで遊ぶことが多くそれも良い時間だと思うが室内でも出来る運動療育や、全体での活動を増やしてほしい。	計画に沿った取り組みを集団や個別の活動の中で実践していくことで改善していく。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	71%	24%		5%	活動の様子を、口頭や文章だけでなく、写真や動画でも共有してほしい	活動プログラムが固定化しないよう工夫していく。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	35%		30%	35%		はなまるグループの事業所間で交流会の機会を検討する。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	88%	6%	6%			保護者の意向に合わせる。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	29%	12%	35%	24%		保護者向けの研修会などがあれば、情報提供を行っていく。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	71%	29%				忙しい中でも、日々情報共有を大切にし、共通の認識を持てるようにしていく。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	70%	18%	6%	6%		お子様で気になることがあれば、いつでもご相談いただくよう、契約時に説明しておく。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	77%	18%		5%		職員一同、今まで以上に共感を持って支援を行っていく。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	12%	6%	41%	41%		保護者が参観できるような機会を作ったり、夏祭り等ご家族で参加できるようなイベントを企画する。
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	65%	23%		12%		契約時の説明をより強化していく。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	77%	12%	11%			できるだけLINEを使い、文章での伝達を心掛けているが、内容によっては電話にて確認しながら行っていく。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	53%	24%	11%	12%		定期的に活動の様子などはブログに掲載しており、土日祝日の行事予定は案内を渡している為、継続していく。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	82%	6%		12%		安心していただけるように契約時に説明をしっかりと行っていく。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	59%	12%	11%	18%		安心していただけるように契約時に説明をしっかりと行っていく。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	53%	12%	6%	29%		今後、長期休みを利用して、実際の自身や津波を想定した避難訓練を実施していく。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	70%	12%	6%	12%		安心していただけるように契約時に説明をしっかりと行っていく。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	59%	18%		24%		けがなどがあった際は速やかに保護者へ連絡は行っていたが、今後はより丁寧な説明を心掛ける。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	94%	6%				お子様に安心して通っていただけるよう、今まで以上に信頼関係を築いていく。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	94%	6%				お子様が通所を楽しみにしていただけるよう、楽しい活動や遊びを提供していく。
	29	事業所の支援に満足していますか。	59%	41%				計画に沿った取り組みを集団や個別の活動の中で実践していくことで改善していく。

公表

## 児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名		コロール今福				公表日	令和 8年 2月 22日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	80%	20%		4月から職員の増員あり。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	60%	40%		学習に集中して取り組めるよう、もう少し環境の整備に工夫が必要。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	80%	20%		今まで以上に目標の振り返りを実施することで業務改善に努める。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	80%	20%	半年に1回本社による点検があり、評価を受けることで業務改善を図っている。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%				
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	80%	20%			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	60%	40%			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	80%	20%			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%				

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	80%	20%		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	80%	20%	その都度取り組んだ支援に対する児童の様子等を共有して次回の利用時の支援に繋げている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	60%	40%		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	80%	20%		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	80%	20%		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	60%	40%		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	60%	40%		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	80%	20%		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	100%			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	60%	40%		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	80%	20%		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%			
保護者への説明等	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	40%	60%		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	80%	20%		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	20%	80%		
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%			

	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	40%	60%		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	80%	20%		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	80%	20%		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	80%	20%	アレルギーについて、イベントで調理を行う際は、食品の原材料を事前に保護者の方に連絡しておくことで確認してもらえるよう工夫している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	80%	20%		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%			

公表

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	コロル今福		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 10日		～ 2026年 2月 18日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 5
○従業者評価実施期間	2026年 2月 10日		～ 2026年 2月 18日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 20日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちへの支援の提供	①お母様からご相談された学習の苦手な部分などについては、宿題後に毎回取り組ませることで定着を図っている。 ②片付けの徹底。	計画的に身に付けさせたいスキルを計画書に沿って、個別・集団活動の中で実施していく。
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流やお子様と一緒に楽しんでいただくような家族への支援、また研修会の案内などの情報提供がほとんどなかった点	日々の業務をこなすことでいっばいで、職員に心理的な余裕がなかった為。	長期休みや土日にご家族も参加可能な夏祭りや外出支援のイベントを企画する。また、保護者向けの研修会などがあれば随時案内していく。
2	事業所外の子ども達と接する機会がない点	開所してまだ1年経たず、地域の中で横の繋がりができていなかった為。	まずは、同じなまるグループの事業所間で運動会やドッチビー大会など企画する。
3			

## 公表 保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

事業所名 コロル今福

公表日 令和 8年 2月 22日

利用児童数 12

回収数 5

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	100%					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	80%			20%		4月に職員の増員あり。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	100%					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	100%				玄関の扉が開まりにくいことが気になります。	近日中に修理予定。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	80%			20%		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	100%					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	80%	20%				今後、移行支援に該当するお子様も出てくる為、説明をしっかりと行っていく。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	80%	20%				活動プログラムが固定化しないよう工夫していく。
11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	20%	20%	40%	20%		はなまるグループの事業所間で交流会の機会を検討する。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	20%	20%	40%	20%		保護者向けの研修会などがあれば、情報提供を行っていく。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	80%	20%				忙しい中でも、日々情報共有を大切に、共通の認識を持てるようにしていく。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	80%			20%		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100%					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	20%		60%	20%		保護者が参観できるような機会を作ったり、夏祭り等ご家族で参加できるようなイベントを企画する。
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	80%	20%				契約時の説明をより強化していく。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている と思いますか。	80%	20%				できるだけLINEを使い、文章での伝達 を心掛けているが、内容によっては電話 にて確認しながら行っていく。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体 制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発 信されていますか。	60%	20%		20%		定期的に活動の様子などはブログに掲載 しており、土日祝日の行事予定は案内を 渡している為、継続していく。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100%					
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニ ュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されて いますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	100%					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な 訓練が行われていますか。	60%	20%		20%		今後、長期休みを利用して、実際の自身 や津波を想定した避難訓練を実施してい く。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される 等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	80%			20%		安心していただけるように契約時に説明 をしっかりと行っていく。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や 事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	60%	20%		20%		けがなどがあった際は速やかに保護者へ 連絡は行っていたが、今後はより丁寧な 説明を心掛ける。
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	80%			20%		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	80%			20%		
	29	事業所の支援に満足していますか。	100%					

## 公表 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名	コロール今福		公表日		令和 8年 2月 22日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	83%	17%		教室の広さを変えることはできない為、机の配置を変えることで過ごしやすい空間を確保する。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	50%	50%		今後、人員の補充あり
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	67%	33%	視覚的にみてわかりやすいように活動する流れを図と文字でホワイトボードに貼っている。	学習に集中して取り組めるような環境整備がもう少し必要。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	83%	17%		今回、初めての評価の為、その内容を業務改善に上げていく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%			時々周知事項の漏れがあるため、より一層伝達事項や改善事項の共有が必要だと思う
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	67%	33%		今回初めて事業所評価を受ける為、保護者の方から指摘があった場合は速やかに改善を図りたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	83%	17%		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	83%	17%		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	83%	17%		計画の共有はできているものの、個別に対応しなければならない内容については、職員の配置や人数によって、取り組み時間を取れないことがあり、改善が必要。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	67%	33%		今後、検討していく。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	67%	33%		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	83%	17%		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	83%	17%		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	83%	17%		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	67%	33%		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	100%			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%			玩具はカードにして掲示することで、自分で遊ぶものを選択できるようにしている。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	83%	17%		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	83%	17%		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	83%	17%		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	50%	50%		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	50%	50%		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	67%	33%		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	67%	33%		
保護者への	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%			定期的なモニタリングは勿論のこと、送迎時に保護者の方と情報共有をし、その都度改善的や要望に応えるよう努めている。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	50%	50%		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	83%	17%		台風や地震があった際の対応について、保護者への周知ができていない為、改善が必要。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%			
保護者への	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	50%	50%		

説明等	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	50%	50%		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	83%	17%		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	83%	17%		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	83%	17%	食物アレルギーについては契約時に必ず確認している。また、イベントで調理をする場合は食品の原材料を事前に保護者の方に連絡することで確認がとれるよう工夫している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	83%	17%		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%				